

モグラ類などの哺乳動物の形態、行動、生態、保全、及び野生動物に寄生する蠕虫類の分類、生態、保全



大学院理工学研究部(理学)
教授 横畑 泰志

研究のキーワード

モグラ、寄生蠕虫、生態学、生物多様性、保全

研究の内容

様々な哺乳動物の、さらに野生動物に寄生する蠕虫類の分類、形態、行動、生態などを研究しており、特にモグラ類の生態学的研究および多様な野生動物と蠕虫類の寄生状況の生態学的関連が主要な課題である。その応用として、農地でのモグラ類の被害防除の研究なども試みてきた。それらの動物を含む生物相や生物多様性の保全を最終的な目標としており、尖閣諸島魚釣島の野生化ヤギ問題や富山県内の自然保護活動にも取り組んでいる。

産学連携・特許

(株) 吉城コンボ「生葉残渣を配合した堆肥による農地などのモグラ被害防除効果の検討」

(株) コウベ「電動式振動発生機による農地などのモグラ被害防除効果の検討」ほか

科研費等外部資金

平成8年度 奨励研究 (A) 「日本産モグラ類の系統分類学的知見の個体群内変異の分析に基づく形態学・生態学的検討」(代表)

平成12-13年度 住友財団環境研究助成「野生化ヤギが尖閣諸島魚釣島の生態系に与える影響の高解像度人工衛星による分析」(代表)

平成19-20年度 基盤研究 (C) 「高解像度衛星画像を用いた尖閣諸島魚釣島のヤギによる生態系変化の追跡」(代表)

その他、社会貢献・受賞など

NPO法人立山自然保護ネットワーク 理事長 アースデイとやま実行委員会 副実行委員長 ほか

研究の概要図

